平成三十年の新春にあたり、謹んでお慶びを申し上げます。

貴台並びに会員の皆様方には、平素から地域における交通安全活動はもとより、犯罪の起きにくい社会づくりなど警察行政の各般にわたりまして深い御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年、警視庁では「交通死亡事故連続減少～チャレンジロード一四〇～」をスローガンに掲げ、自治体、交通ボランティア等と連携して、高齢者の生活サイクルに応じた交通安全指導や自転車ストップ作戦等を行い、都民の交通安全意識を高めるとともに、事故の多発が懸念される地域・路線での集中的な指導取締りや「見せる交通街頭活動」を強化するなど、重大交通事故の防止のための対策を進めました。

この間、貴台の皆様方には、特に春・秋の全国交通安全運動期間中における一斉街頭活動や各種キャンペーンへの参加など、年間を通じて、交通事故防止対策への多大な御協力を頂き、心から敬意と謝意を表します。

皆様方の取組みもあって、交通事故死者数を一四〇人以下に抑えるという目標こそ達成できませんでしたが、戦後三番目に少ない死者数に抑えることができました。

警視庁では、東京２０２０オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、「世界一の交通安全都市ＴＯＫＹＯを目指して」を新たなスローガンとし、都民を交通事故から守り、安全で快適な交通社会を実現するため、本年も皆様方と連携し、子供と高齢者の交通事故防止対策、自転車利用者への交通安全指導、飲酒運転根絶などの対策を推進してまいります。

皆様方には、本年も変わらぬ御支援、御協力を賜りますようお願いを申し上げます。

まずは略儀ながら書中をもって新年の御挨拶とさせていただきます。

平成三〇年一月

警視庁交通部長
山本　仁